

2003年5月期中間決算説明会

2002年12月19日

アスクル株式会社

2003年5月期中間決算の総括

主な施策とトピックス

2003年5月期中間決算

売上高、各利益ともに続伸

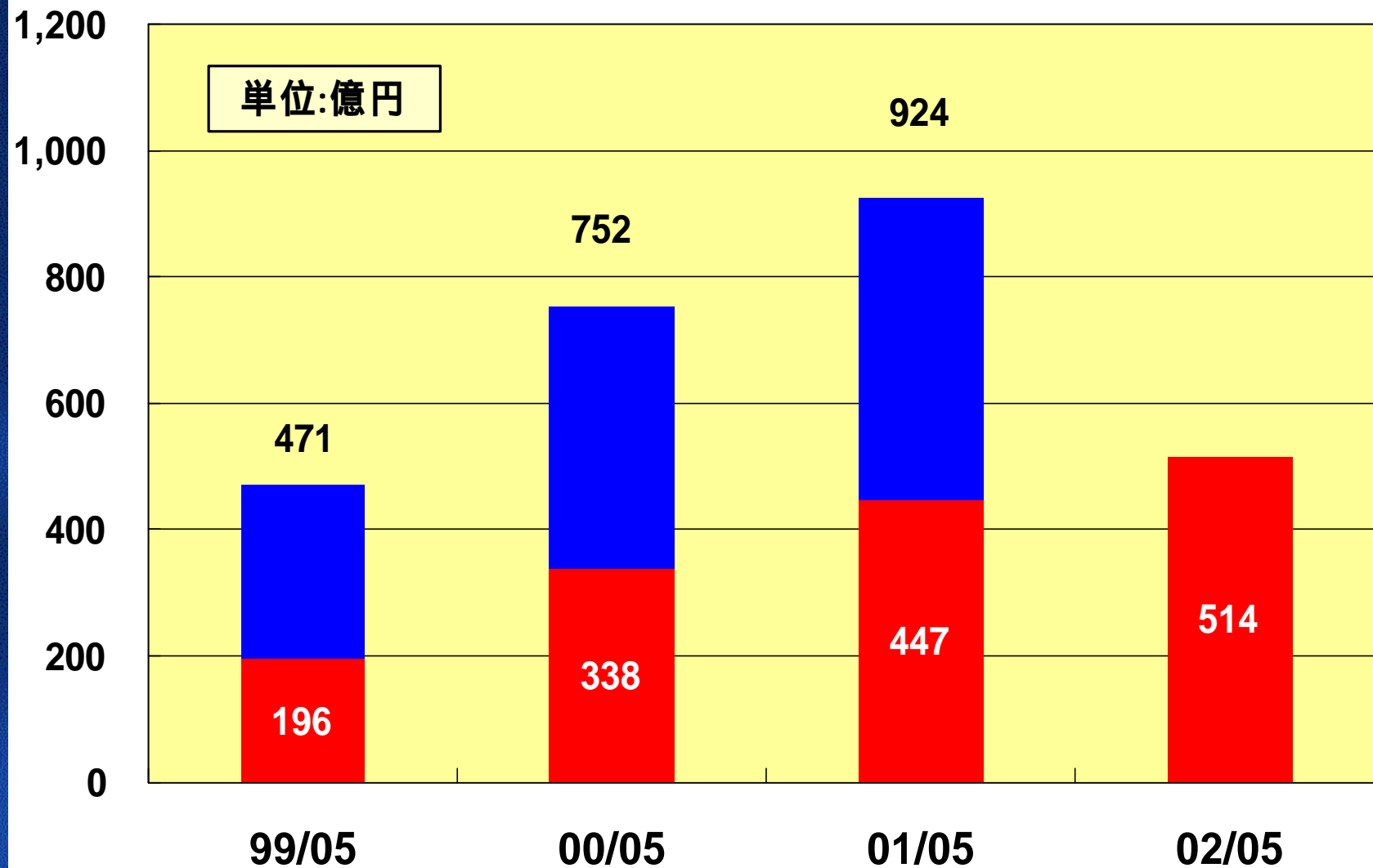
(金額単位：百万円)

	2001/11(前期)		2002/11(当期)		前期比	改善率
売上高	44,757	100.0%	51,460	100.0%	115%	
売上総利益	11,045	24.7%	12,940	25.1%	117%	+0.4P
販管費	9,194	20.6%	10,528	20.5%	115%	0.1P
営業利益	1,850	4.1%	2,411	4.7%	130%	+0.6P
経常利益	1,860	4.2%	2,415	4.7%	130%	+0.5P
当期純利益	765	1.7%	1,153	2.2%	151%	+0.5P

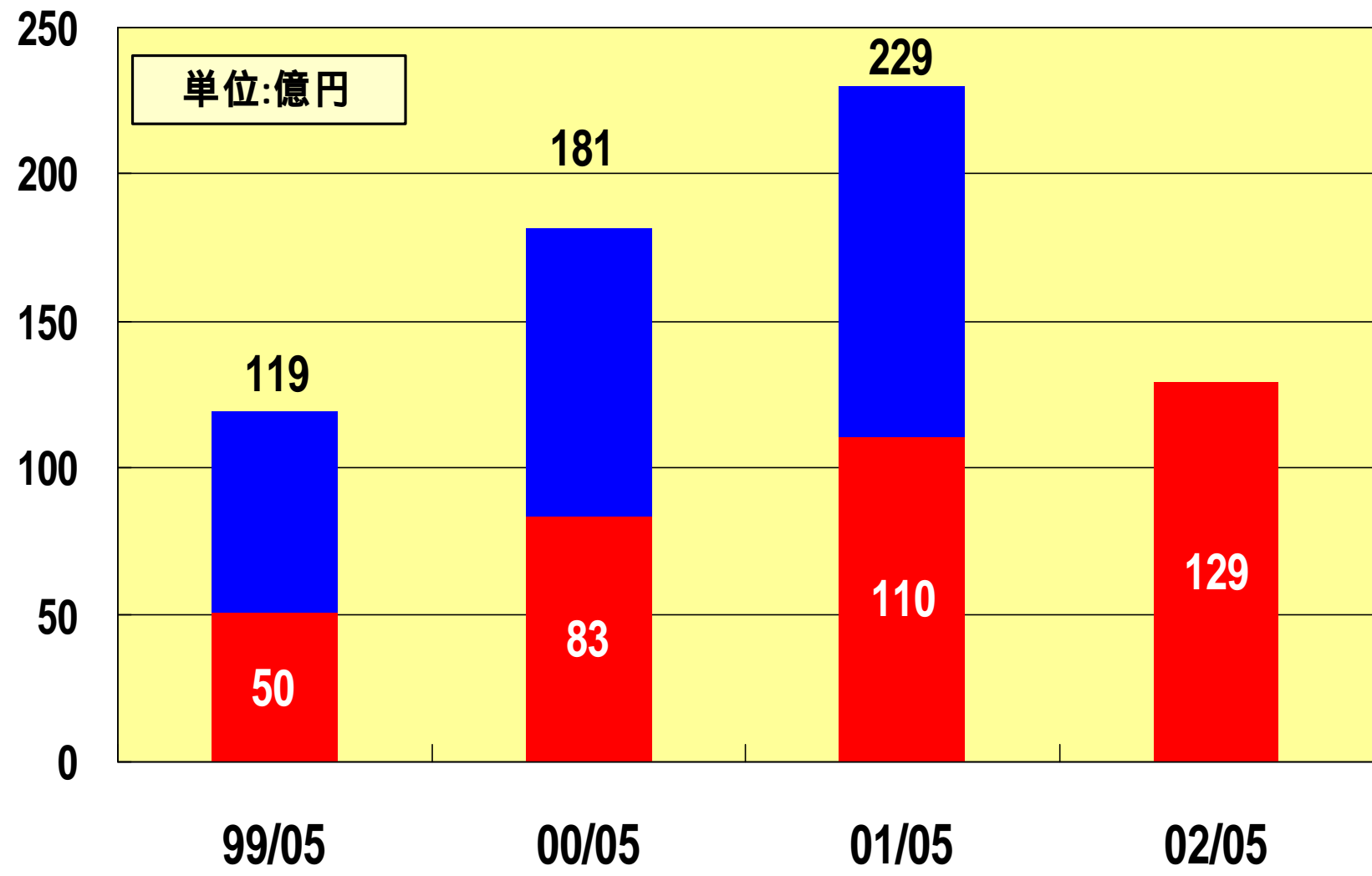
2003年5月期中間決算期の4つのポイント

1. 売上高	対前期比	115.0%
2. 売上総利益	対前期	+0.4%
3. 販管費		
・ 貸倒引当金繰入額の増加		+215百万円
4. 特別損失		152百万円
・ 東京センター原状復帰工事費用		124百万円
・ 固定資産等廃棄		28百万円

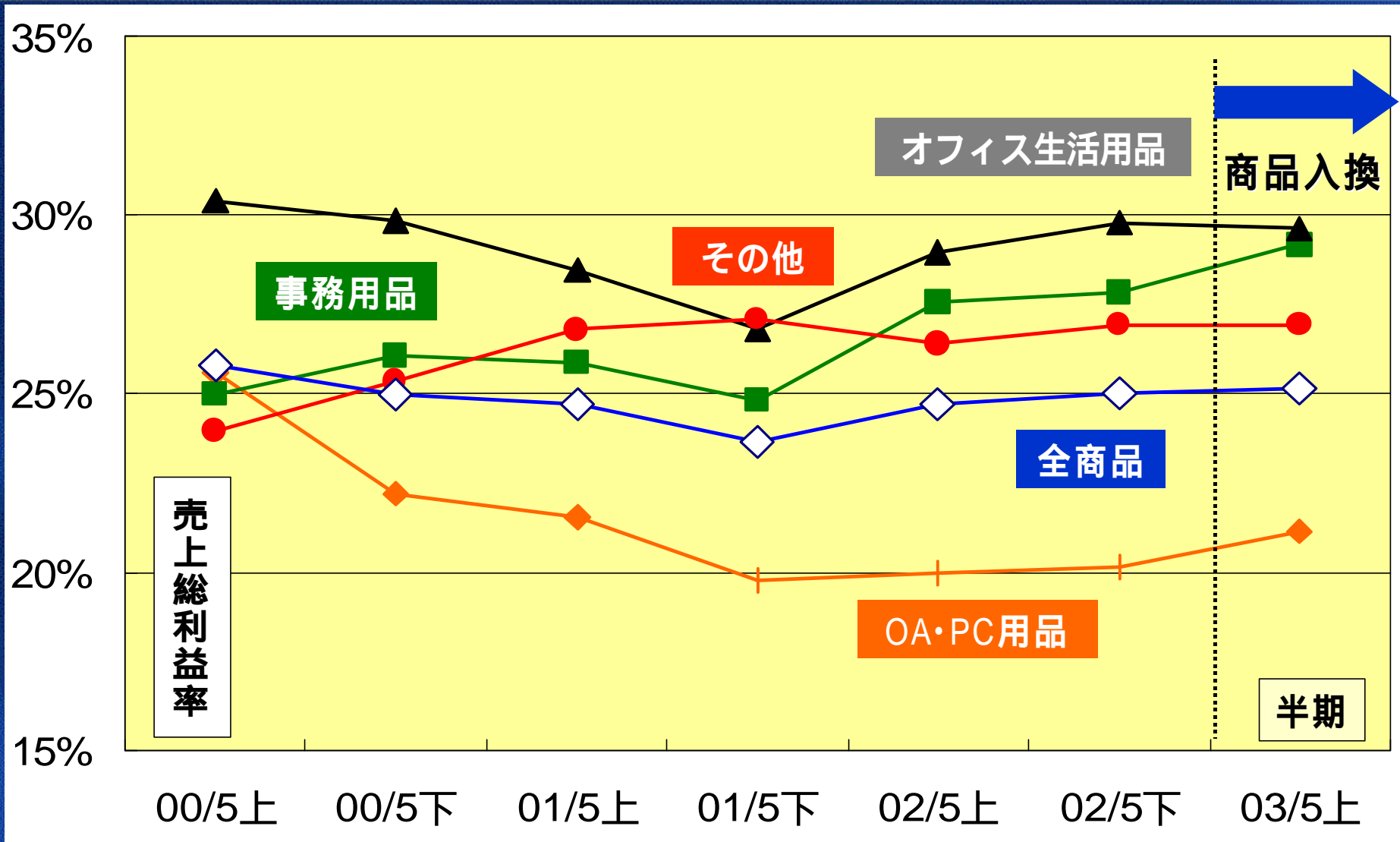
1-1. 売上高は 15%UP (前年同期比)



2-1. 売上総利益は 17%伸長(前年同期比)



2-2. カテゴリ別売上総利益率の推移

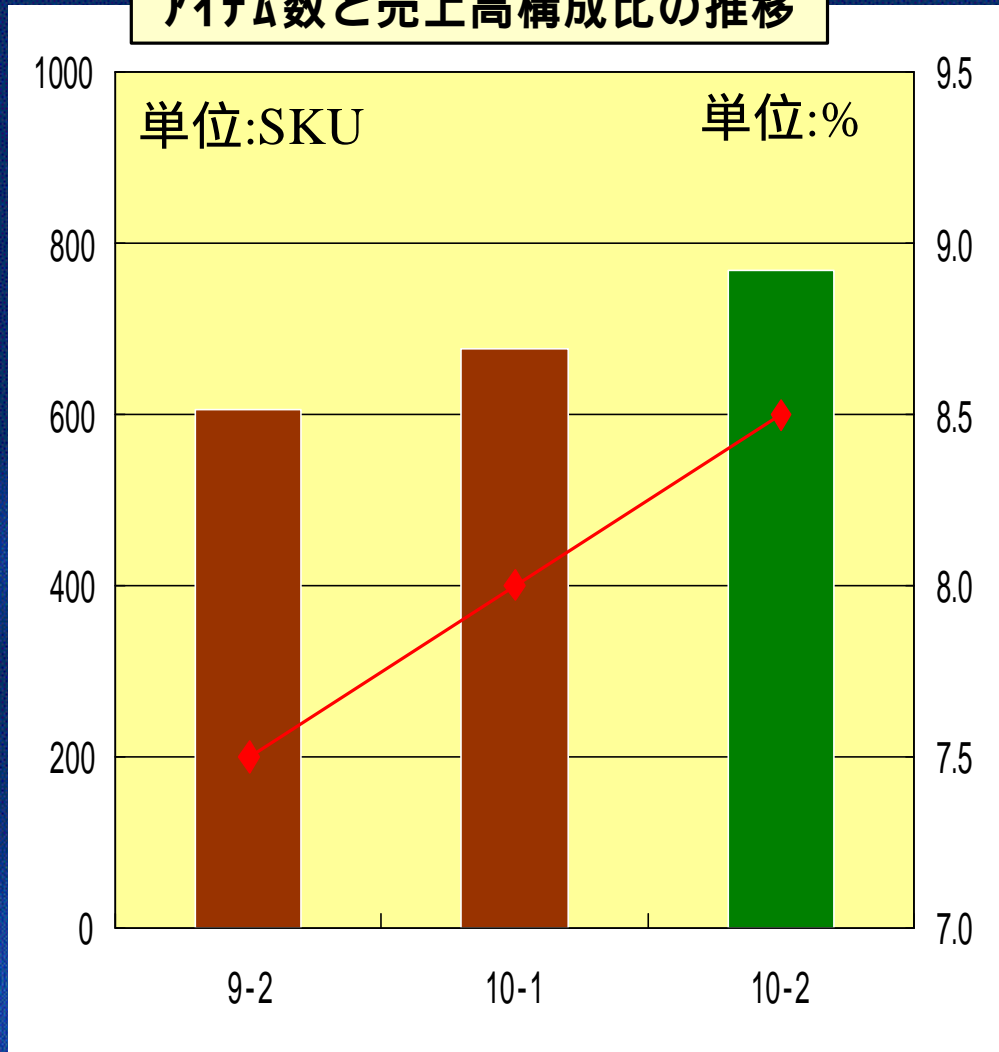


(注)平均より 3.9%低いOA・PC用品の売上構成比が+10.7%増加



2-3. オリジナル商品の拡充(607 767SKU)

アイテム数と売上高構成比の推移



PP製収納ボックス
積水ライフテック(株) 共同企画
ASKULオリジナル 全品ダイナミック

PP製ボックスに、
オフィス仕様が誕生。

ファイルがロッドに入るようサイズを設計。書類等も収納できるような強度をアップ。同じサイズや異なるサイズを多用できる構造を実現。オフィスでの利用に促される。5つを揃えたセットも、積水ライフテック(株)とASKULが共同企画。国産品でありながら、コストを徹底削減した、ASKULオリジナルPP製収納ボックスが誕生しました。

2-4 . 四半期毎の売上総利益の推移

第2四半期の売上総利益率が低下

第1 四半期 25.3%

第2 四半期 25.0%

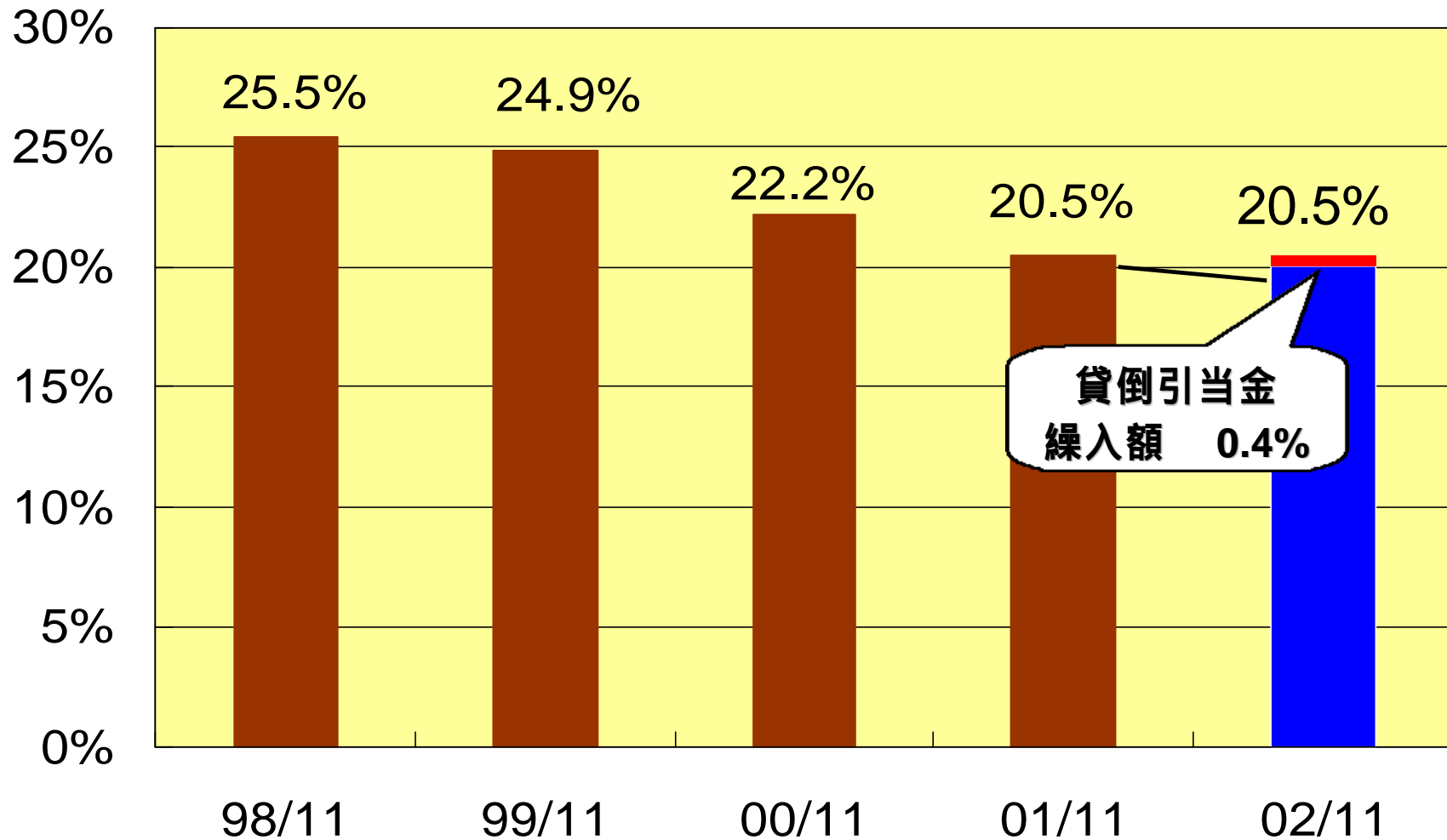
(上半期 25.1%)

第2四半期売上総利益低下要因

1. 新カタログ掲載商品プライスダウン(721SKU)
2. コピー用紙(旧商品) 処理

3-1. 販管費(上期)の推移

貸倒引当金繰入額の増加分を除くと20.1%

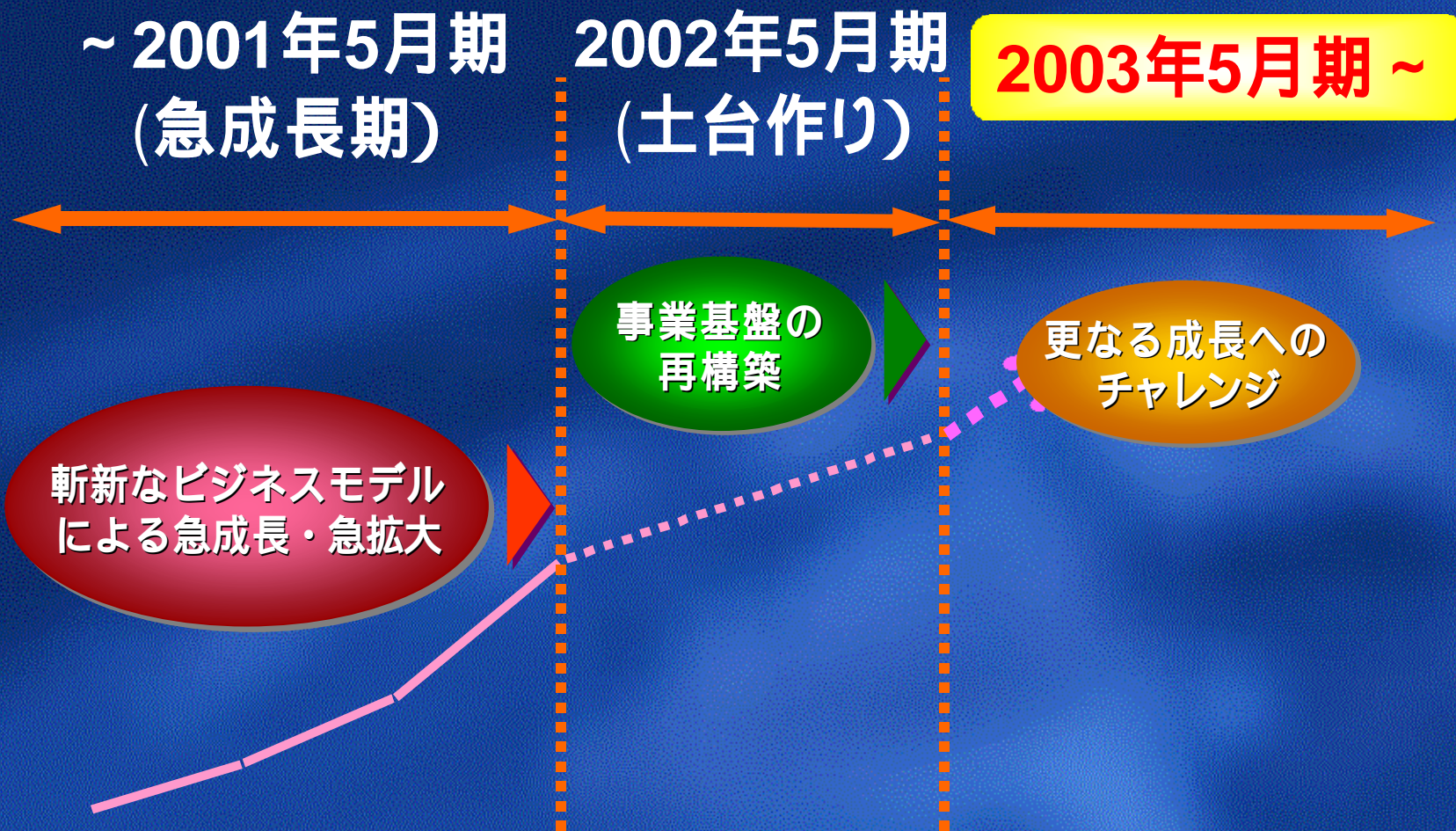


主な施策とトピックス

1. 家具サービス等
2. e-Procurement (電子購買)
3. その他

トップラインの成長維持

2003年5月期の位置付け

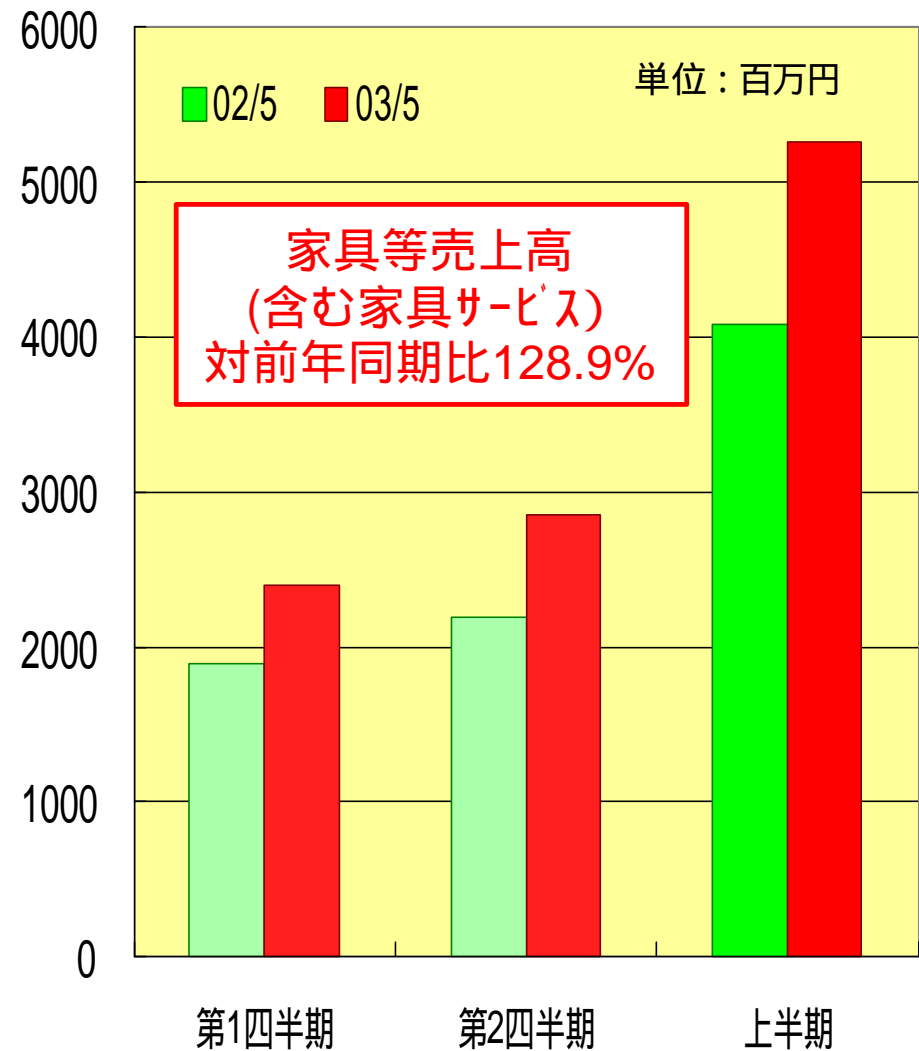


1-1. 新規事業(家具サービス事業等)への取組み

家具サービス事業は、インキュベーション期間にある

家具サービス事業スケジュール

- H14.09.26 港区限定 小冊子配付
- H14.10.21 東京22区(除く、港区)
- H14.12.18 1都6県 チラシ展開
- H15.03.01 全国展開(予定)



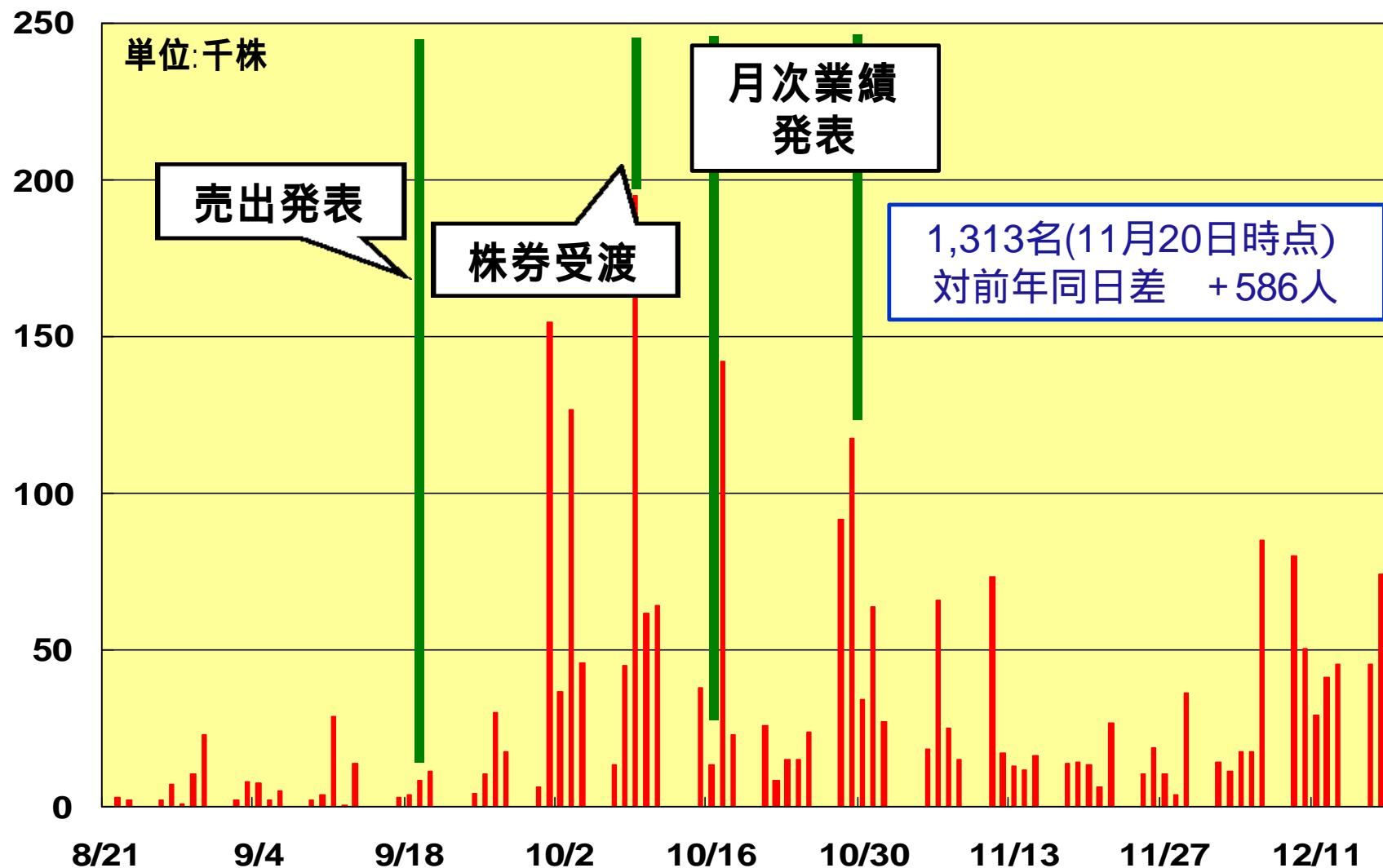
2-4 . ARENAの稼動状況

ご利用企業数の推移

- ・前期末 101社
- ・第1四半期末 177社
- ・第2四半期末 255社

3-1. 流動性の改善(株式)

売買単位変更(1000 → 100株) + 売出(200万株)



2003年5月期通期見通しについて

平成15年5月期通期の業績予想につきましても、景気の先行きに対する不透明感がより一層強まることが予想されることから、当初予想数値の変更は行っておりません。

下期業績に対するリスク・ファクターと対応策

【リスク・ファクター】

- ・大企業向け施策実行による一時的な粗利率低下
- ・デフレ不況化における買い控え、競争の激化と単価下落
- ・情報用紙市況の悪化

【対応策】

- ・取扱い商品の拡大
- ・新サービス導入
- ・海外調達による原価低減

ポーター賞 授賞



ポーター賞とは

製品、プロセス、経営手法においてイノベーションを起こし、これを土台として独自性がある戦略を実行し、その結果として業界において高い収益性を達成・維持している企業を表彰するために創設されました。

質 疑 応 答

